

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	高齢者相談員設置			
■評価事業コード	043100 - 024	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	03 高齢者への生活支援の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市高齢者相談員設置規則			
■関連計画の名称	第5次北上市高齢者保健福祉計画			
■事業の目的と概要	住民の不安解消、安心して生活するための助言。高齢者及び家族からの相談に対応する			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	高齢者相談員設置	高齢者	相談件数窓口、訪問等 計200件	相談件数窓口、訪問等 計95件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	2,022	2,030	1,806	1,940	
人件費	162	315	458	537	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,184	2,345	2,264	2,477	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	相談件数	100件	228件	507件	96件	平成23年度は被災者相談が増えた一方、高齢者相談は減少。平成25年度は高齢福祉係全体の統計のため増加。包括支援センターの委託により、相談件数は減っていくと見込んでいる。

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input type="radio"/> A. 順調 <input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	相談件数は平成24年度増加しており、市民ニーズは高く、概ね順調である。	相談員の常勤化
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 <input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる <input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 <input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■今後の方向性 <input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小・要改善 <input type="radio"/> IV. 民間活用・協働事業化 <input type="radio"/> V. 廃止・休止 <input type="radio"/> VI. 完了	補足説明 包括支援センターを委託したことにより、相談窓口が包括へ移行し、長寿介護課での受付件数は減少している。しかしながら相談内容が複雑化しているため、今後も事業の継続が必要である。	